

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公表番号】特表2017-514847(P2017-514847A)

【公表日】平成29年6月8日 (2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2016-565676(P2016-565676)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/82 Z N A

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 35/17

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月20日 (2018.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

代謝拮抗化学療法剤との同時投与又は逐次投与による癌の治療のために用いられる、免疫応答を惹起するのに適した少なくとも 1 種のペプチドを含む医薬であって、

前記ペプチドが、

野生型 R A S タンパク質のフラグメントに対応するが、その 1 個の アミノ酸置換 を有する、ペプチドであり、かつ

R A S タンパク質の 1 2 位又は 1 3 位を含む少なくとも 8 個のアミノ酸の領域を含み、かつ

前記ペプチドの前記 アミノ酸置換 が、

それぞれ、前記 1 2 位又は前記 1 3 位における アミノ酸置換 であり、かつ G 1 3 A、G 1 3 C、G 1 3 D、G 1 3 R、G 1 3 S、G 1 3 V、G 1 2 A、G 1 2 C、G 1 2 D、G 1 2 R、G 1 2 S 又は G 1 2 V の 置換 から選択される アミノ酸置換 である、
医薬。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 種のペプチドが 2 種以上のペプチドを含み、各種ペプチドが異なる ア

ミノ酸置換を有する、請求項 1 に記載の医薬。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 種のペプチドが、
G 1 3 D の置換を有するペプチドと、
G 1 2 A の置換を有するペプチドと、
G 1 2 C の置換を有するペプチドと、
G 1 2 D の置換を有するペプチドと、
G 1 2 R の置換を有するペプチドと、
G 1 2 S の置換を有するペプチドと、
G 1 2 V の置換を有するペプチドと、
を含む、
請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 種のペプチドが、配列番号 1 3 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 4 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 5 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 6 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 7 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 8 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 9 によって表される配列からなるペプチドとを含む、請求項 3 に記載の医薬。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 種のペプチドが、
G 1 3 D の置換を有するペプチドと、
G 1 3 C の置換を有するペプチドと、
G 1 2 A の置換を有するペプチドと、
G 1 2 C の置換を有するペプチドと、
G 1 2 D の置換を有するペプチドと、
G 1 2 R の置換を有するペプチドと、
G 1 2 S の置換を有するペプチドと、
G 1 2 V の置換を有するペプチドと、
を含む、
請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 種のペプチドが、配列番号 1 3 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 4 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 5 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 6 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 7 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 8 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 9 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 2 0 によって表される配列からなるペプチドとを含む、請求項 5 に記載の医薬。

【請求項 7】

前記代謝拮抗化学療法剤がピリミジンアナログ又はその薬学的に許容可能な塩である、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 8】

前記ピリミジンアナログがゲムシタビン又はその薬学的に許容可能な塩である、請求項 7 に記載の医薬。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 種のペプチドが、配列番号 1 3 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 4 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 5 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 6 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 7 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 8 によって表される配列からなるペプチドと、配列番号 1 9 によって表される配列からなるペプチドと、配

列番号 20 によって表される配列からなるペプチドとを含み、かつ

前記代謝拮抗化学療法剤が、ゲムシタピンである、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 10】

前記癌が突然変異 RAS タンパク質を発現する細胞を含む、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 11】

前記癌が膵臓癌である、請求項 10 に記載の医薬。

【請求項 12】

前記膵臓癌が切除された膵臓癌である、請求項 11 に記載の医薬。

【請求項 13】

前記代謝拮抗化学療法剤が、前記少なくとも 1 種のペプチドの最初の服用の少なくとも 3 週間後に最初に投与される、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 14】

前記代謝拮抗化学療法剤が該膵臓癌の外科的切除後 12 週間以内に最初に投与される、請求項 12 に記載の医薬。

【請求項 15】

前記代謝拮抗化学療法剤が、前記少なくとも 1 種のペプチドの 24 時間以内に投与される、請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 16】

前記代謝拮抗化学療法剤が、前記少なくとも 1 種のペプチドが投与された後に投与される、請求項 15 に記載の医薬。

【請求項 17】

前記少なくとも 1 種のペプチドが、1 用量当たり 0.01 mg ~ 10 mg の投与量で投与される、請求項 1 ~ 16 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 18】

前記少なくとも 1 種のペプチドが、1 用量当たり 0.1 mg ~ 2 mg の投与量で投与される、請求項 1 ~ 16 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 19】

前記少なくとも 1 種のペプチドが、1 用量当たり 0.7 mg の投与量で投与される、請求項 1 ~ 16 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 20】

前記代謝拮抗化学療法剤が $100 \text{ mg} / \text{m}^2 \sim 10000 \text{ mg} / \text{m}^2$ の投与量で投与される、請求項 1 ~ 19 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 21】

前記代謝拮抗化学療法剤が $500 \text{ mg} / \text{m}^2 \sim 2000 \text{ mg} / \text{m}^2$ の投与量で投与される、請求項 1 ~ 19 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 22】

前記代謝拮抗化学療法剤が $1000 \text{ mg} / \text{m}^2$ の投与量で投与される、請求項 1 ~ 19 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 23】

前記少なくとも 1 種のペプチド及び前記代謝拮抗化学療法剤を少なくとも 2 段階で同時に又は逐次に投与し、投与の各段階を少なくとも 1 週間あける、請求項 1 ~ 22 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 24】

前記少なくとも 1 種のペプチド及び前記代謝拮抗化学療法剤を少なくとも 3 段階で同時に又は逐次に投与し、投与の各段階を少なくとも 1 週間あける、請求項 1 ~ 22 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 25】

前記少なくとも 1 種のペプチド及び前記代謝拮抗化学療法剤を少なくとも 2 段階で同時

に又は逐次に投与し、投与の各段階を少なくとも２週間あける、請求項１～２２のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項２６】

前記少なくとも１種のペプチド及び前記代謝拮抗化学療法剤を少なくとも３段階で同時に又は逐次に投与し、投与の各段階を少なくとも２週間あける、請求項１～２２のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項２７】

代謝拮抗化学療法剤との同時投与又は逐次投与による癌の治療のために用いられる、請求項１～６のいずれか一項に記載の少なくとも１種のペプチドに特異的な少なくとも１種のＴ細胞、又はＭＨＣ分子上に提示された場合に請求項１～６のいずれか一項に記載の少なくとも１種のペプチドに特異的なＴ細胞を含むＴ細胞製剤。